学校だより第１２号

# ＴＥＡＭさくらまち

令和７年６月３０日

自ら学び　自ら考え　自ら行う

長崎市立桜町小学校　校長　片岡 勝志

## 教育週間が終わりました

本校では、６月２３日から２７日までを「桜っ子の心を見つめる教育週間」として、学校を公開しました。

長崎県では、過去、５月から７月のちょうどこの時期に、子供が子供を殺傷したり、子供が自らの命を絶ったりと、とても痛ましい出来事がありました。そこで、今後このようなことが起こらないようにとの思いを込めて、平成１６年からこの時期に教育週間を設定し、子供たちは命の大切さについて学んでいます。

**● ６月２３日（月）　全校朝会**

全校児童に向け、次のような話をしました。

皆さんは、なぜ、このような教育週間があるのか、聞いたことがありますか。実は，長崎県内ではこれまでに，５月から７月にかけて，子どもの命がなくなるとても悲しい出来事が起こってきました。自分で自分の命を終らせたり、ある日突然命を奪われたり。ですから、長崎県では，全ての学校でこの時期に「心を見つめる教育週間」をつくり、みんなでしっかりと命の大切さを学ぼうとなったのです。

あなたはいくつ命を持っていますか。あなたの命は，世界でたったの一つ。一度なくすと戻りません。例えばゲームでは，たくさん命があって、なくなってもリセットして、もう一度挑戦できるというようなものがあるかもしれません。けれど，あなたが持っている本物の命には，リセットボタンはありません。一度なくすと決して元に戻ることはない。本物の命は、とても大切なのです。自分の命は自分でしっかり守ること，そして自分の命と同じように友達の命も大切にしなければなりません。

では，皆さん、「命を大切にする」とはどんなことをすることでしょう。これは、いろいろあると私は思います。まずは皆さん、生活の約束事や交通ルールをしっかり守り、事件や事故に遭わないように気をつけることです。事件や事故にあうと、命がなくなってしまうかもしれませんからね。また、体を丈夫にするために健康に気をつけた生活をすることです。「早寝早起き朝ごはん」なども、命を大切にすることにつながっています。

命を大切にすることは、普段の何気ない生活の中でできます。普段の一時間一時間、１分１秒の時間を大切に過ごすこと。学校では，いろんな友達とつながり，一緒に学んだり，笑顔で過ごしたりすることが，命を輝かせること、命を大切にしていることになります。幸せになるための４つの心がけがありますね。「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「あなたらしく」これも、命を大切にすることとつながっていると思います。

人に迷惑にならないようにすること、人を傷つける言葉などを言わないようにすること。「小さなことからあったか言動」桜町習慣の「ち」。これも友達や自分の命を大切にすることにつな

がっています。
　今日は，命を大切にすることについて少しお話をしました。命を大切にするとは、どんなことをすることなのでしょうか。この１週間，しっかり考えてみてくださいね。

**●　６月２５日（水）　被爆体験講話**

原田真美先生に、爆心地から 1.2ｋｍの茂里町の兵器工場で被爆された義母、原田妙子さんの被爆体験を、紙芝居や写真などの資料を使いながら、分かりやすく語っていただきました。子供たちは戦争の悲惨さや命の尊さ、平和の大切さについてしっかり学ぶことができました。

**●　姿勢講座**

姿勢教育の専門家、高島くみ先生に、午前中は子供向け、午後の授業参観の前には保護者向けの講演をしていただきました。子供たちは姿勢をよくすることの大切さや効果的な足ゆびストレッチの方法などについて学ぶことができました。

**●　道徳の授業公開（全学年）**

「命のつながり」「命を輝かせて生きる」「命の大切さ」「SNS の望ましい活用の仕方」など、それぞれの学年で視点を変えて授業を行いました。

教育週間期間中、多数の保護者の皆様、地域の皆様に学校に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。子供たちは日々成長しています。今後とも頑張る子供たちを温かく見守っていただければと思います。